

## 第95期第2四半期（中間期）の概要と通期の見通し



## MAX REPORT

株主のみなさまへ

第95期  
中間報告書

2025.4.1-9.30

## 当社を取り巻く環境について

当中間連結会計期間における世界経済は、米国の政策動向などにより不透明感を抱えつつも、緩やかな回復基調が継続しました。

国内は、当社インダストリアル機器部門に関連する新設住宅着工戸数が、3月の駆け込み着工による反動減の影響などで低迷したことに加え、民間非居住建築物の着工床面積も減少しました。米国は、住宅ローン金利の高止まりや資材価格の上昇などで住宅着工が低調に推移したほか、インフラを中心とする非住宅市場に対する建設投資の伸びが停滞しました。欧州は、金融緩和による企業の投資活動の拡大傾向など、景気の持ち直しの動きが続きました。

## 当期の業績について

このような状況の下で、売上高は486億8千8百万円（前年同期比8.5%増収）、営業利益は94億6千7百万円（同27.6%増益）となりました。経常利益は97億5千5百万円（同36.4%増益）、親会社株主に帰属する中間純利益は72億8千8百万円（同33.7%増益）となりました。

新製品の拡販などにより鉄筋結束機「ツインタイア」を含むコンクリート構造物向け工具の販売が、欧米で好調に推移したことで、売上高及び各利益ともに第2四半期（中間期）として過去最高を更新することができました。



## 通期の見通しについて

通期は、2025年7月31日公表の業績予想を上回る見通しとなりましたので、2026年3月期の連結業績予想及び配当予想を修正しております。

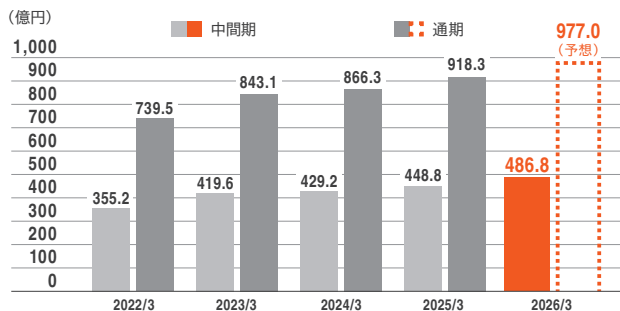
修正後の売上高は977億円（前期比6.4%増収）、営業利益は172億円（同18.9%増益）、経常利益は175億円（同18.2%増益）、親会社株主に帰属する当期純利益は132億円（同17.6%増益）を計画しています。売上高、各利益ともに過去最高を更新する見通しです。1株当たり年間配当金は前期から18円増配の132円を予定しています。

株主のみなさまには、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

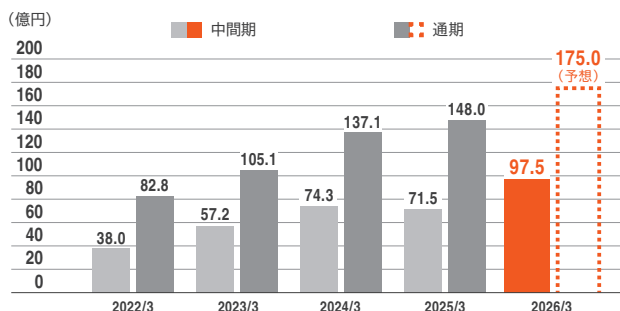
2025年11月 代表取締役社長 小川辰志

## 決算のPOINT

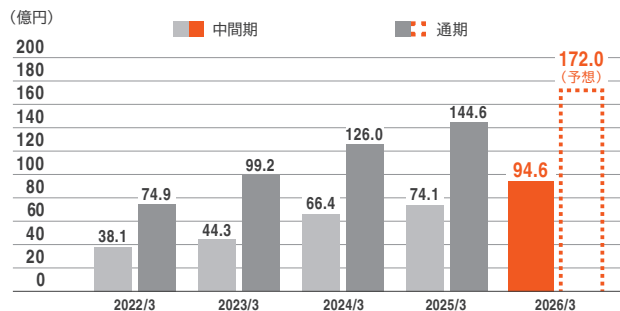
### 売上高



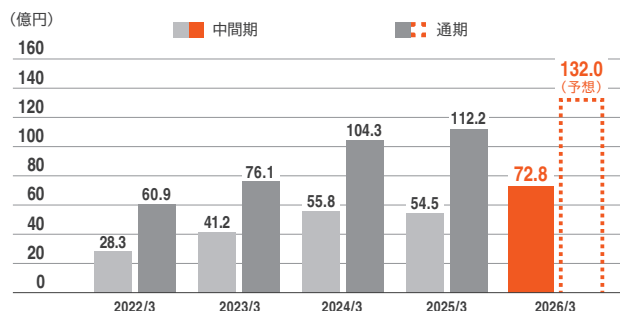
### 経常利益



### 営業利益



### 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



01

売上高  
**486.8 億円**

鉄筋結束機「ツインタイヤ」を中心とするコンクリート構造物向け工具の販売が欧米で好調に推移したことにより、増収となりました。

02

営業利益  
**94.6 億円**

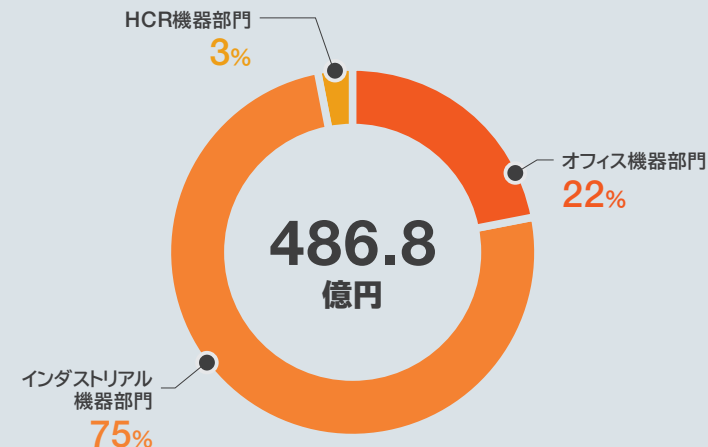
販売数量の増加のほか、米国関税に対する価格改定などにより、増益となりました。

03

中間純利益  
**72.8 億円**

営業利益の増益に加え、前期と比較して、営業外費用としての為替差損の影響が小さくなったことなどで、増益となりました。

## セグメント別の概要



2026年3月期  
中間期売上高構成比

### 事業内容

#### オフィス機器部門

オフィス機器事業は、ホッチキスをはじめとした文具や表示作成機、チューブマーカーなどの文字表示機器を販売しています。

オートステープラ事業は、複合機に搭載される電動ホッチキス及び消耗品を供給しています。

#### インダストリアル機器部門

機工品事業は、鉄筋結束機などのコンクリート構造物向け工具、釘打機をはじめとした木造建築物向け工具などを販売しています。

住環境機器事業は、浴室暖房換気乾燥機、24時間換気システムなどの販売を通じて、快適な住環境づくりを提案しています。

#### HCR機器部門

車いすや歩行器など移動機器の販売を通じて、高齢者やお身体の不自由な方の自立生活を支援しています。

## オフィス機器部門

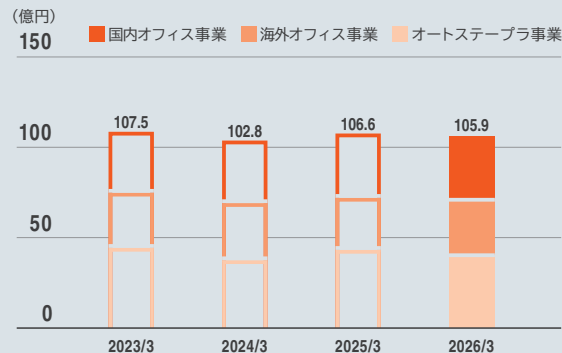
売上高

105億  
99百万円

セグメント利益

18億  
45百万円

中間期売上高推移



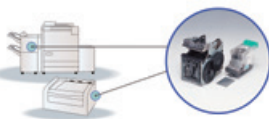
### オフィス機器事業

国内の文具関連製品などの販売が減少したものの、海外において、東南アジアを中心とする文具関連製品や表示作成機「ビーポップ」の販売が増加したことで、増収となりました。



### オートステープラ事業

取引先からの受注の停滞が継続したことにより、機械と消耗品の販売が減少し、減収となりました。



## インダストリアル機器部門

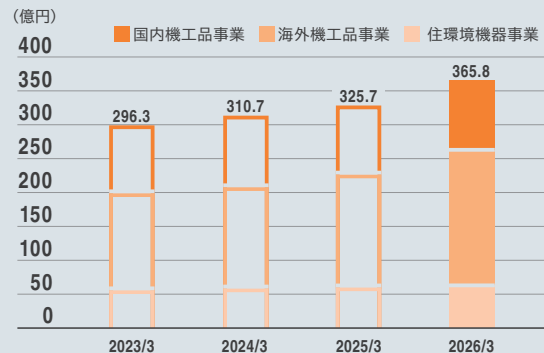
売上高

365億  
81百万円

セグメント利益

99億  
96百万円

中間期売上高推移



### 機工品事業

鉄筋結束機「ツインタイア」新製品の拡販や、建設現場における人手不足を背景とした機械化需要の高まりなどにより、欧米で鉄筋結束機とその消耗品の販売が大幅に増加したことで、増収となりました。



### 住環境機器事業

主力の浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」の販売が、注力しているリプレイス向け(既設機の置き換え)で増加したほか、一部OEM先向けでも堅調に推移し、増収となりました。



## HCR機器部門

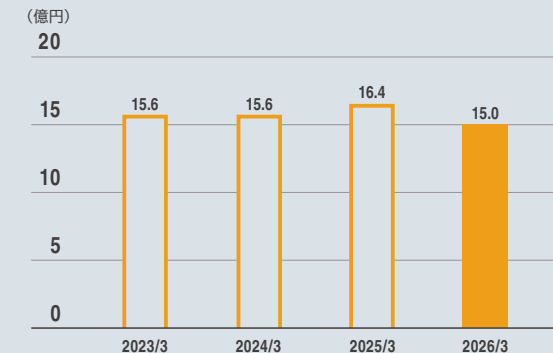
売上高

15億  
7百万円

セグメント損失

19百万円

中間期売上高推移



### HCR事業

新製品の拡販活動を進めたものの、レンタル需要の減少など取引先からの受注が停滞し、減収となりました。





## チューブマーカ **LETATWIN** レタツイン

工場やオフィスなど、建物には機械や設備をコントロールする「制御盤」や電気を分配する「配電盤」があります。チューブマーカは、「制御盤」「配電盤」内の電線が、どこに接続されているか識別するための文字や数字をチューブやテープに印字する専用印刷機です。

「レタツイン」シリーズは、現場携帯型チューブマーカのトップブランドとして、好評を得ています。

### 特長

**POINT 01** 細径・太径のチューブや、デバイスラベル・記名板・テープに印字可能

**POINT 02** 電源が取れない場所でも充電池の使用でコードレス作業が可能

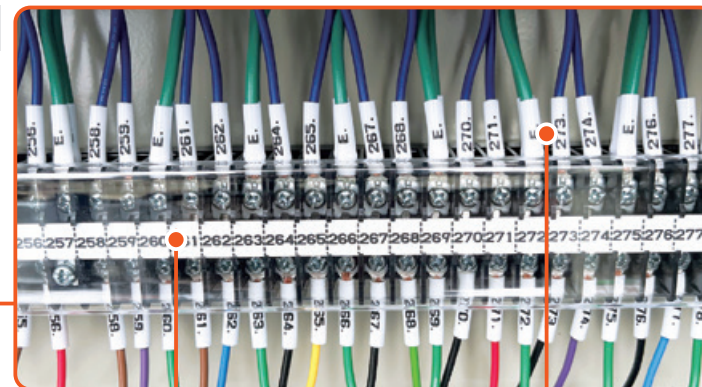
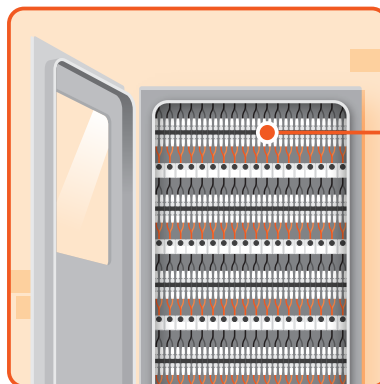
**POINT 03** 屋上など冬場の寒い現場でも印字可能、チューブウォーマー搭載

その他詳細は特設サイトをご覧ください。



#### 配電盤

電力会社から電気を受け取り、建物内の照明やエアコンなど各所に電気を分配する装置です。レタツイン1台で配電盤内で必要な表示を印字できます。



記名板やテープに印字して表示



チューブに印字して表示



デバイスラベル



# 統合報告書2025を発行しました

株主や投資家をはじめとしたステークホルダーのみなさまに当社グループに対する理解をより深めていただくため、統合報告書2025を発行しました。  
こちらでは、統合報告書2025の主なトピックをご紹介します。

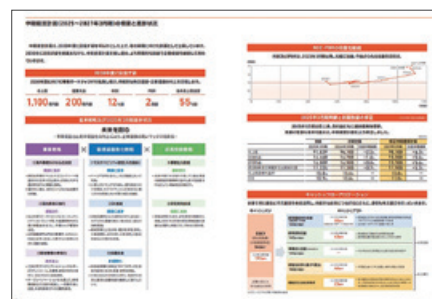
統合報告書2025の詳細は当社Webサイトをご覧ください。  
<https://www.max-ltd.co.jp/about/ir/data/integrated/>



## 統合報告書2025の主なトピック

### 01 中期経営計画の概要と進捗状況

中期経営計画(2025~2027年3月期)は、2030年度に目指す姿を明らかにしたうえで、その実現に向けた計画として立案しています。3つの基本戦略の進捗状況や2025年3月期実績、キャッシュフローアロケーションなどを掲載しています。



中期経営計画の概要と進捗状況 P.18

### 02 鉄筋結束機事業の市場拡大と成長戦略

成長の原動力となっている鉄筋結束機事業について、推定市場規模や各エリアの活動状況、2025年5月に発売した特大径モデルを含む鉄筋結束機「ツインタイヤ」シリーズのラインアップなどを掲載しています。



鉄筋結束機事業の市場拡大と成長戦略 P.22

### 03 『自律移動結束ロボット』の開発秘話

マックスは、「使う人が満足するモノづくり」の実現に向けて、お客様とのつながりを大事にし、独創技術を磨き続けています。

2025年1月「World of Concrete」に出展した研究開発中の『自律移動結束ロボット』に関する開発秘話をインタビュー形式で紹介しています。



特集 P.30

### 04 事業を通じた社会課題の解決

これまで、社会課題の解決に向けた製品・サービスの開発や環境負荷低減の取り組みの推進などを通じて、健康で安全・安心な暮らしや仕事環境の実現に貢献してきました。鉄筋結束機「ツインタイヤ」による鉄使用量の削減や、吉井拠点での緑地整備の取り組みなどを紹介しています。



事業を通じた社会課題の解決 P.40



## 作業者の身体的負荷軽減を実現 充電式メッシュ筋カッタ『PJ-C060』新発売

メッシュ筋  
カッタ

### 開発の背景

建設現場では、技能労働者の不足により、機械化による作業環境改善、生産性向上が求められています。メッシュ筋の切断作業は主に手動式ボルトクリッパが使われており、1日100～1,000カットにも及ぶ大量な作業もあることから、身体的負荷が高く、炎天下や屋外では極めて過酷な作業です。このような背景から、作業従事者からの負担軽減、省力化の要望がありました。



### 製品の特長

『PJ-C060』は、多くの施工現場で使用されている直径6mmまでのメッシュ筋を1カット0.7秒（14.4V電池装着時）で切断、大量に切断する際のメッシュ筋を重ねての2本切りも楽にできます。当社鉄筋結束機との電池互換性（14.4V）があり、よりスピード（0.6秒/カット）を求める場合は18V仕様の電池も使用できます。

## デスク周りをスッキリ保てるコンパクトなサイズ ミニホッチキス『HD-10P』新発売

ホッチキス

### 開発の背景

当社は2016年に小さくコンパクトにたためるデザインの「colorgimic（カラーギミック）」を、2022年にスティックタイプの「MOTICK」を発売し、携帯用コンパクトホッチキスを展開してきました。この度「スベパ」（スペースパフォーマンス）に優れた新製品を発売しました。

### 製品の特長

『HD-10P』は、コロんとしたかわいい形状で、落ち着きがありながら地味にならない色合いのくすみカラーは、柔らかな雰囲気があります。ホッチキス本体の全長は約5cmと当社スタンダードモデルHD-10NXの全長9cmと比較してコンパクトです。また、28gと軽量なので、持ち運びが気軽にできる利便性も備えています。



# MAX NEWS

## マックスで過去最多の5製品が「2025年度グッドデザイン賞」を受賞

ホッチキス『HD-10G』、ねじ打機『ターボドライバ（エース）HV-R41G6（D）』、充電式メッシュ筋カッタ『PJ-C060』、鉄筋結束機『コネクティッド ツインタイド RB-442T-C-B2C/1450A』、誘引結束機「テープナー」用『生分解テープ』の5製品が「2025年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

GOOD DESIGN  
AWARD 2025

グッドデザイン賞

### オフィス機器



### 建築・建設工具



### 農業・食品包装





## 会社情報

### 会社概要 (2025年9月30日時点)

商 号	マックス株式会社
本 社	東京都中央区日本橋箱崎町6番6号
設 立	1942年11月26日
資 本 金	123億6千7百万円
従 業 員	2,479名

### 取締役・執行役員 (2025年10月時点)

代表取締役社長	小 川 辰 志
専務取締役 上席執行役員	角 芳 尋
専務取締役 上席執行役員	山 本 将 仁
常務取締役 上席執行役員	石 井 英 之
常務取締役 上席執行役員	加 藤 浩 二
取締役 (社外)	倉 澤 佳 子
取締役 監査等委員	中 村 智 彦
取締役 監査等委員 (社外)	神 田 安 積
取締役 監査等委員 (社外)	木 内 昭 二
取締役 監査等委員 (社外)	矢 島 茉 莉
上席執行役員	岩 本 尚 士
上席執行役員	真 鍋 克 則
執行役員	安 江 大 輔
執行役員	吉 田 信太郎
執行役員	北 谷 明 雄
執行役員	五十嵐 均
執行役員	櫻 原 英 男
執行役員	竹 崎 実 嗣
執行役員	久 富 慎
執行役員	須 田 庸 夫
執行役員	設 楽 重 之
執行役員	仙 田 雅 之



## 株式の状況

### 大株主 (上位10位まで) (2025年9月30日時点)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
第一生命保険株式会社	3,856	8.51
日本生命保険相互会社	3,762	8.30
マックス共栄会第一持株会	3,703	8.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,571	7.88
マックス共栄会第二持株会	3,272	7.22
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	2,288	5.05
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,997	4.41
株式会社みずほ銀行	1,834	4.05
株式会社群馬銀行	1,714	3.78
マックス従業員持株会	1,150	2.54

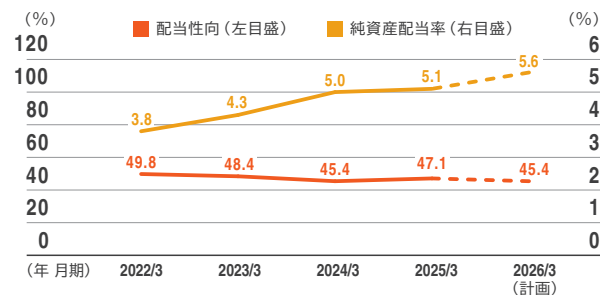
※当社は、自己株式1,217,811株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。  
※持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

### 利益配分に関する基本方針と配当について

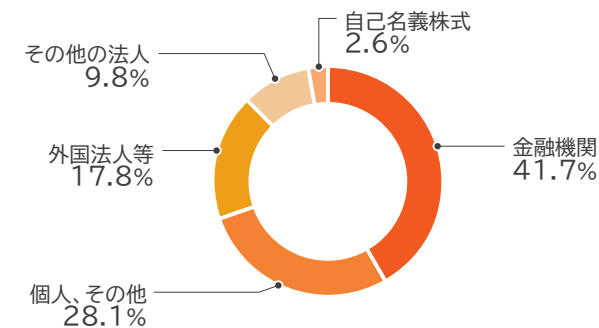
当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置付けています。

利益配分に関する基本方針は「事業活動による利益を持続的な成長により拡大し、長期安定的に利益配分を行うこと」とし、配当政策は「連結決算を基準に、純資産配当率5.0%、配当性向50%を目安とする」としております。

#### 配当性向／純資産配当率の推移



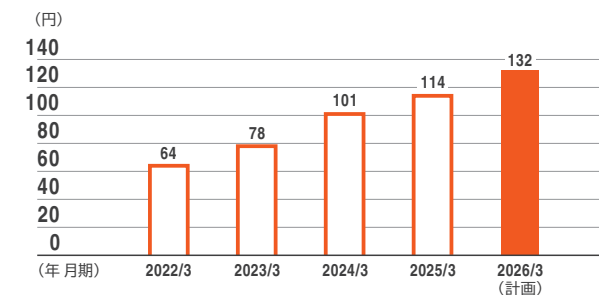
### 株式分布状況 (所有者別株式数比率) (2025年9月30日時点)



自己名義株式数	1,217,811株
発行済株式数	46,537,426株
株 主 数	9,632名

当期は、米国の政策動向などにより不透明感を抱えつつも、現在のところ業績は堅調に推移しており、前期114円から18円増配の「1株当たり年間配当金132円」とする予定です。

#### 1株当たり配当金の推移



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議により、 あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031 受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝日及び12/31～1/3を除く)
インターネット ホームページURL	<a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
単元株式数	100株
公告の方法	当社ホームページに掲載いたします。 <a href="https://www.max-ltd.co.jp/">https://www.max-ltd.co.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社ホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京（プライム）

## MAX マックス株式会社

本社／〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6番6号 TEL. (03) 3669-0311 (代)

<https://www.max-ltd.co.jp/>



ユニバーサルデザイン  
(UD) に基づいた、読  
みやすい文字デザイン  
を使用しています。

